



整形外科の手術機器を導入しました!



このたび、

- ・手術用ナビゲーションシステム「Curve2 ナビゲーションシステム (ブレインラボ)」
- ・移動型透視診断装置「モバイルCアームイメージングシステム Cios Spin (シーメンスヘルスケア)」を導入しました。

当院では、主に脊椎手術で使用します。Cアームで撮像した画像を3D化し、その上に、術中の器具・インプラントなどの位置をリアルタイムかつ正確に表示させることができます。これにより、今まで以上に正確で安全な手術を行うことが可能となります。ナビゲーションを使うことで、手術中のリスク軽減以外に、放射線被ばく量の低減や手術時間の短縮も期待できます。

宝塚第一病院 整形外科では、これからも最新の技術・機器を用いて診療・手術を行ってまいります。お困りごとなどがありましたら、いつでもご相談にお越しください。

令和5年度 入社式



4月1日に、令和5年度入社式を行いました。

今年も密を避けるため、Zoomでの開催となりました。

医療法人尚和会全体で51名の新入職員を迎え、

そのうち33名が宝塚第一病院に配属されました。

オリエンテーションで医療人としての心構えや基本的な知識を学んだ後、医療の現場にデビューしています。まだまだ慣れない新人たちですが、一生懸命頑張っていますので、温かい目で見守っていただけます様よろしくお願いいたします!

よろしくお願いします



5/15~5/19

手洗い キャンペーン

外来に来られた方を対象に「手洗いキャンペーン」を実施し、100名の方が参加されました。手洗いチェッカーを使い、洗い残しなどを確認することで日頃の手指消毒や手洗いの参考にしていただきました。



眼科に、網膜電位計「レチバルコンプリート」を導入しました。網膜が正常に機能しているかを調べる器械です。目に30秒から1分弱光をあて、

網膜に光を感じた時に発生する電気信号を網膜電位図(ERG)として記録します。従来のERG検査はとても大変な検査で、散瞳し点眼麻酔をしたうえで電極を角膜(目の黒目の部分)に取り付けて行っていました。しかしレチバルでは無散瞳で、目の下にシール型の皮膚電極を貼ることで測定できるため、負担が少なく、お子さんでも可能な検査となりました。この検査は、難病である網膜色素変性症、網膜ジストロフィー等の診断には不可欠です。また、白内障の手術前に検査して術後の視力を予想したりするためにも使用します。今後は、緑内障治療に対しても応用が期待されています。「暗い所に入ると急に見えにくい」などの自覚症状がある方は、検査したほうがよいか、ご相談ください。



眼科検査機器のご紹介

医師着任のお知らせ



整形外科副部長
なんのかつひこ
南野勝彦

4月より整形外科に着任しました南野勝彦と申します。大学卒業後は大阪大学整形外科に入局し、その関連病院で研鑽を積んで参りました。直近の10数年は市立吹田市民病院と市立伊丹病院において、骨折などの外傷の治療、人工関節の手術、骨粗しょう症の治療に広く携わってきました。当院の整形外科は常勤医が多く在籍しており、整形外科疾患について幅広く対応することができます。また、紹介状がなくても受診できますので、地域の皆さまにとって気軽に、かつ安心して訪れることができる診療科だと考えています。宝塚第一病院整形外科の一員として、これまでの経験を活かし精一杯頑張りますので、皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。



脳神経外科
なかむらゆうすけ
中村佑典

4月より脳神経外科へ着任した中村佑典と申します。愛知医科大学卒業後、同大学病院、兵庫医科大学病院、清仁会シミズ病院、福岡脳神経外科病院などで、特に脳血管障害を中心に研鑽を積んで参りました。当院は、兵庫医科大学病院、宝塚市立病院などの高次医療機関とも密に連携しているため、高度な手術や集学的治療が必要な方は診断・初期治療の後に迅速に搬送し、薬物治療やリハビリテーションが中心の患者さまは当院で入院加療を行っています。また、他院で脳外科疾患の治療を受けられた方の外来通院も積極的に受け入れております。宝塚市民の皆さま、宝塚第一病院の皆さまに貢献できますよう精一杯がんばりますので、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。

